

**定期講座** **和菓子の奥深さを知る**  
合川公民館「職人から学ぶ和菓子講座」

合川公民館定期講座として行っている和菓子講座が、11月11日に合川保健センターで行われ、受講者は和菓子作りについて学びました。

この講座は、合川公民館で行われる定期講座の一つであり、和菓子職人である若松登美夫さんを講師に迎え、本格的な和菓子作りを学ぶことができるものとなっています。

講座は午前と午後の部に分かれ27人が受講しており、この日は午前の部に9人が参加し、若松さんが考えたオリジナルの和菓子を作りました。受講者は調理工程を聞き、それぞれのグループで真剣に和菓子を作る姿が見られました。



**作品寄贈** **生徒たちが想いをつなぐ**  
合中生からまとびくんのモザイクアートを贈呈

合川中学校(嘉藤貴子校長)から合川公民館に対し、ペットボトルのキャップで描いたまとびくんのモザイクアートの贈呈式が、11月9日に同校で行われました。

同校では、毎年8月に行われていた「合川まと火」が、新型コロナウイルスの影響で中止になってしまったが、「合川まと火」にかけたい想いを、止めることなく次につなげたいと学校祭の全校制作としてモザイクアートを作成したものです。

合川公民館の佐藤隆男館長は「皆でつないできた合川まと火に対する想いをしっかり受け止め、新しい公民館にぜひ継承してもらいたい」とお礼を述べました。



**花壇活動** **花の広がりにより地域に潤いを**  
令和2年度北秋田市花だんコンクール表彰式

令和2年度北秋田市花だんコンクール表彰式が、10月29日に市民ふれあいプラザで行われ、花だんで景観に優れた団体や学校、家庭を表彰しました。

同コンクールは、花と緑に囲まれたうおいあるまちづくりを推進するため行われており、今年度は17団体1個人が応募し、市長賞に比内支援学校たかのす校と藤根ミサさんが選ばれたほか、市議会議長賞や教育長賞などが授与されました。

北秋田市花いっぱい運動推進協議会の松岡福太郎会長は「今後も、さらに花のある風景が広がるような活動を続けていきたい」となどあいさつしました。



市内のいろいろな出来事を紹介します



**閉校記念** **南小の精神を引き継ぐ**  
鷹巣南小学校閉校記念式典

鷹巣南小学校(山本英幸校長)の閉校記念式典が、11月15日に行われました。

同校は、1874年に七日市小学校として創立され、1972年に鷹巣南小学校が開校、現在の校舎へ移転されました。来年4月には、鷹巣中央小学校と統合し、清鷹小学校となります。

開式前には、児童たちによる「上船木駒踊り」と「七日市奴踊り」が披露されました。山本校長や津谷市長があいさつを述べたあと、全校児童が学校への感謝の思いを込めた呼びかけと合唱を行い、最後には、出席者全員で校歌を斉唱しました。また、この後、閉校記念碑の除幕式も行われました。



**地域行事** **駅から美しい歌声を届ける**  
秋田内陸線ちいさな秋の駅コンサート

浜辺の歌音楽館少年少女合唱団による、秋田内陸線ちいさな秋の駅コンサートが、阿仁合駅、米内沢駅、合川駅の3駅で行われました。

このコンサートは、コロナ禍での合唱団の活動PRと発表の機会にと駅ピアノ等が設置されている3駅を会場に企画され、11月7日には阿仁合駅、14日には米内沢駅と合川駅で開催されました。14日に行われたコンサートでは、同合唱団のOGらとともに、お揃いの衣装に身を包んだ子どもたちが「赤いやねの家」や「まっかな秋」など9曲を披露し、会場となった駅には、優しい子どもたちの歌声が満ちていました。



**閉校記念** **中央ハートを胸に新たな道を**  
鷹巣中央小学校閉校記念フェスティバル

鷹巣中央小学校(藤嶋勇人校長)の閉校記念フェスティバルが、11月7日に行われました。

同校は、1875年に脇神学校として創立後、1969年に現在の中央小へ改称し、72年に現在の校舎へ移転。来年4月には、鷹巣南小学校と統合し、新たに清鷹小学校となります。

新型コロナウイルス対策として2部制で行われ、第1部では卒業生や地域の方たちが集まりました。祇園太鼓の演奏から始まり、卒業生代表4人がステージ上で学校にまつわる思い出を語り合ったほか、藤嶋校長、近藤PTA会長の2人があいさつを述べ、最後には全校児童が校歌を歌いあげました。



**全国出場** **応援を支えに良い成績を目指す**  
秋田北鷹高校陸上競技部女子駅伝チーム優勝報告

第32回全国高等学校駅伝県予選大会で優勝した、秋田北鷹高校(青山仁校長)の陸上競技部女子駅伝チームが、11月5日に市役所を訪れ、優勝報告を行いました。

同チームは、10月31日に行われた秋田県予選大会において優勝を収め、2年連続、同校としては4度目の全国大会出場を決めました。

阿部優華主将は「練習の成果を発揮し、優勝することができた。昨年に引き続き、北秋田市の皆さんの支えがあり頑張れた。全国駅伝大会では、前よりも良い成績でゴールできるように頑張る」と決意表明をしました。

